

保護者のみなさまへ

瀬戸市立萩山小学校長 杵 洵 家

平成25年度「学校評価」について

本年度の学校評価の一部として、保護者のみなさま・児童および職員を対象にした「学校評価アンケート調査」の集計結果と概要についてお知らせします。

本校の学校教育目標

校訓「明るく 素直で たくましく」

基礎・基本な知識・技能を身に付け、目標に向かって努力する子
人と交流し、話を聞き、協力・協調のできる子
心身共に健康で、進んでことにあたり、粘り強く取り組む子

* 本年度の重点努力目標

- 心を育てる指導の充実・体験活動・異学年交流・行事
 - ・ いじめを許さない環境づくりをとおして心を育てるとともに、学校を休まない習慣づくりの指導と充実を図る。
 - ・ ソーシャルスキルトレーニングをとおして、ルールとマナーを身につけさせる指導の充実を図る。
 - ・ 他の国の異なる文化との共存。養護学校や地域との交流から共に学び、集うことで、協力や協調、自他を大切にできる心を育む指導の充実を図る。
- 基礎学力の保証
 - ・ 「読み・書き・算」の基礎学力を確実に習得させる。また、学力分析にもとづいた指導法の研究や研修を深める。
 - ・ 朝学習、チャレンジタイム等で繰り返し学習の指導と充実を図る。
- 総合的な学習の充実
 - ・ 総合的な学習や横断的な学習等を地域学習との関連のもとに進める指導の充実を図る。
- 学習態度・学習環境
 - ・ 「返事、あいさつ、あとしまつ」(躰三原則)を進め、学習規範作りを図る。
 - ・ 学習にふさわしい校内掲示、教室環境、学習にふさわしい教材・教具および児童の持ち物を共通した認識のもとに指導を進める。
- 体力の向上
 - ・ 教育活動全体を通じた体力づくりに心がける指導を進める。
 - ・ 健康を守るための意識を高揚させる指導を進める。
- 家庭との連携
 - ・ 家庭との連携を密にし、生活の基盤づくり・基本的生活習慣確立・学習習慣づくりを目指した指導を進める。

* 学校評価の目的

- 子ども達の健やかな成長を目指して、学校が目標を持って教育活動に取り組み、その達成状況を検証することで、改善を図ります。
- 結果を公表し、保護者や地域住民のご理解を得て、学校・家庭・地域の連携と協力による学校づくりを目指します。

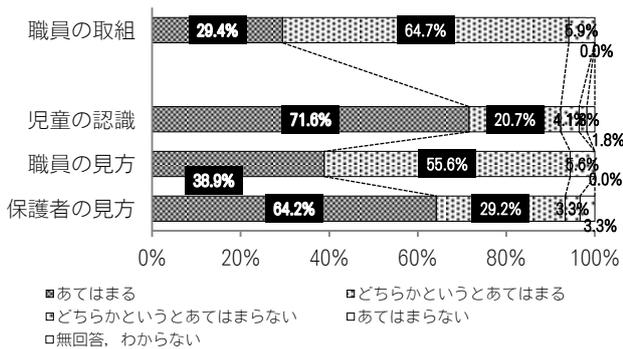
* 今回のアンケートについて

- 今回は、129世帯中94世帯の方から回答を得ました（回収率72.8%、昨年度は69.4%でした）。
- みなさんの回答の傾向をわかりやすくとらえるために、保護者・児童・職員で似たニュアンスの設問をし、職員の取り組み、児童の認識、職員や保護者の見方（職員・保護者からみた子ども達の現状）についてグラフにしました。ただし、保護者、児童、教職員の集計結果の単純な比較から共通点や有意性を論ずることはできません。あくまでも傾向としてお考えください。

* おもなアンケートの集計結果と考察

1 学校生活について

学校生活への満足感【学校でみんなと一緒に勉強したり、遊んだりすることが楽しい】



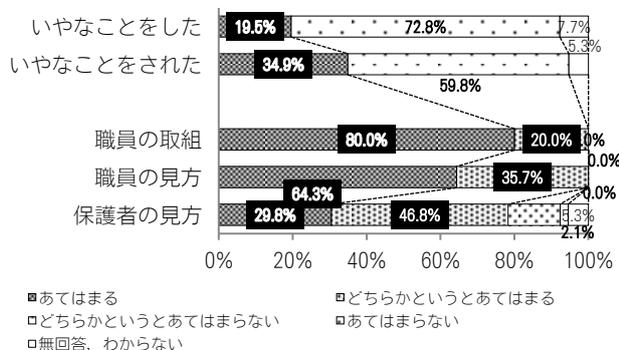
毎年度、児童・職員・保護者の回答の傾向がほぼ同じです。プラスの回答が90%を超えます。

もちろん学校生活は、楽しいことばかりではありません。学習や生活、友達関係で悩むことは必ずあります。それでも、学校へ足が向く、また、学校で楽しいことが見つけられることが大切と考えます。

児童のマイナス回答が0に近づくよう、職員・保護者のみなさんともに、子どもの気持ちに寄り添い、支援ができるようにしていきたいと考えます。

2 いじめと人権教育について

【いやなことをしたことがある、いやなことをされたことがある】 と 【人権意識の高まり】

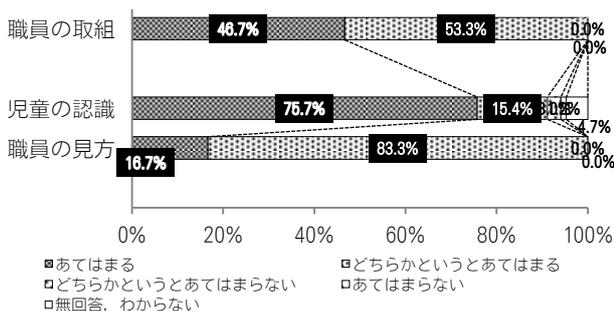


5人に1人がいやなことをした認識を持っています。また、3人に1人がいやなことをされたと感じています。昨年度の結果の半分近くに減りました。

しかし、職員や保護者の見方からもわかるように、それだけにおさまっているとも思えません。ただ、職員・保護者の見方が同じ傾向にあれば、同じ認識を持って、いじめや人権教育に対応できるのではと心強く感じます。

学校は、いじめに関して早期発見と指導を心がけていきます。以前より、何かトラブルがあれば、全職員で迅速に指導する体制を整えています。また、本年度はいじめ防止対策基本法が制定されました。これに基づき、来年度より、いじめ防止の基本方針を新たに策定し、防止に取り組めます。

設問【いじめはどんなことがあってもいけない】

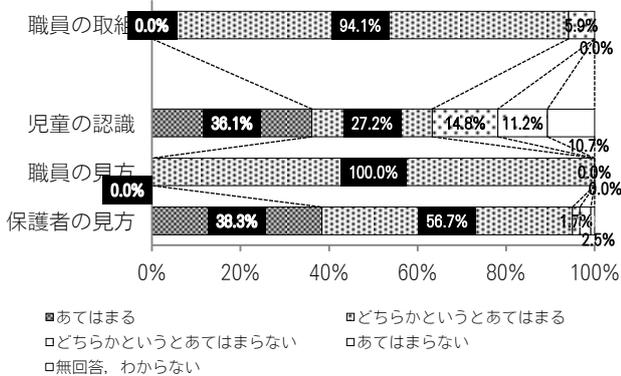


児童の90%が「いじめはどんなことがあってもいけない」と認識しています。昨年に比べ、「いじめはいけない」と認識が育っています。しかし、普段児童に接している職員は、「どちらかというあてはまる」を選ぶ割合が高いです。他からみても「人がいやなことはしない」がはっきりわかる言動の取れる児童を育てる指導を継続していきます。そして、いじめを未然に防止していきます。

3 自己肯定感（自尊感情）について

自己肯定感（自尊感情）【わたしのことがすき（自分自身を大切にする気持ちや感情）】

- 保護者 ----- 自分自身を大切にする気持ちや感情が育っている。
- 職員・児童 --- わたしのことがすきです。



昨年度と同じ傾向でした。児童と職員・保護者の認識に大きな開きがあります。

萩山小学校の多くの児童は明るく元気で自分のことも大好きにみえます。しかし、普段の生活の中で、他からの言葉がけや接する態度、学習成果についての悩みなどから、3人に1人が自分のことを好きになれないでいることも事実です。

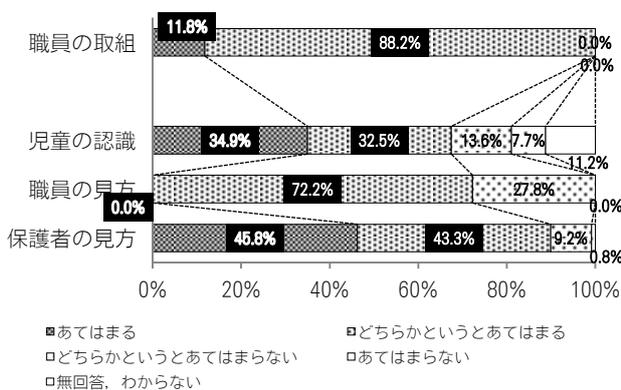
しかられてばかり、けんかをしてばかりでは、自分のことをいやになってしまいます。あなたのことがすきだよというメッセージを伝えられる場面を増やし、

ぼく・わたしにはこんな良いところがあるのだと自信が持てるようにしたいと考えます。

4 自己有用感について

自己有用感【わたしのよい面は生活の中でいかされている】

- 保護者 ----- 自分自身のよさを感じ、課題に進んで取り組もうとする感情が育っている。
- 職員・児童 --- わたしにはいろいろなよいところがあります。



昨年と比較して、あてはまるを選択した児童が10ポイント上がりました。子どもたちが長所をいかし課題に取り組むための手立てを工夫している成果と考えます。しかし、3人に1人の児童がマイナスの回答をしています。

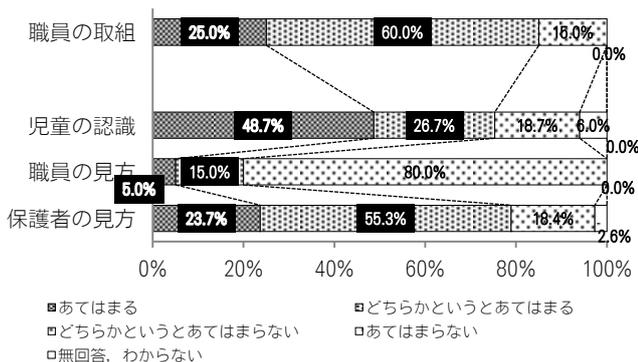
自己有用感、自己肯定感と密接に関係すると思われま。他から承認され自信を持つことができれば、子ども達はその経験をすすんで生活にいかそうとします。

ささいなことでもできたことをほめ、それにより、学校でも家庭でも、長所をいかし自信をもって生活できる場面を増やしてあげたいものです。

5 自己効力感

活動意欲【課題に対して、できそうだという気持ちを持ち、取り組める意欲や姿勢をもてる】

- 保護者 ----- 自分自身の良さを感じ、課題に進んで取り組もうとする感情が育っている。
- 職員・児童 --- 難しそうなことでも、とにかくやってみます。



職員の見方がとても低い項目です。これは、職員が、「難しいこと」＝「新しい学習課題」ととらえた際に、児童の課題に向かう姿勢に残念な場面を感じるからです。「難しいこと＝学習」とした場合、保護者のみなさまの見方はこのままでしょうか？

苦手なこと、面倒なこと、難しいことに挑戦する力や克服する力は、自立する上で不可欠です。

児童が学校生活で挑戦・克服する場面は、学習（授業）にほかありません。その場で自己効力感を伸ば

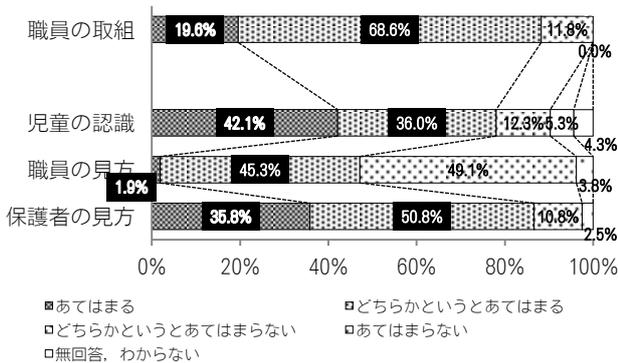
したいと考えています。見通しを持てる学習の指示やスモールステップの指導を行うなど工夫をしています。家庭でも、まず学習について進んで取り組めるよう、応援していただければと思います。

好きなこと・楽しいことには、だれもが意欲的に取り組みます。そうでない場合でこそがんばれる力を、小学校の時代に身につけさせたいです。家庭での学習は、進んで物事に取り組む力を身につける一番のチャンスです。ご家庭のご協力をぜひお願いします。

6 周りとのコミュニケーションをとる力や思いやり

周りへの働きかけやかかわり【職員と児童は、複数の設問の結果をまとめました】

- 保護者 ----- まわりの子とうまくコミュニケーションをとる力が育っている。
- 職員・児童 --- まわりの子を勉強や遊びにさそうことができます
自分が悪いと思ったとき、自分からあやまります。
まわりの子のことを考えて、自分の気持ちをがまんできます。



昨年とほぼ同じ結果でした。職員の見方と保護者の見方・児童の認識に大きな差があります。

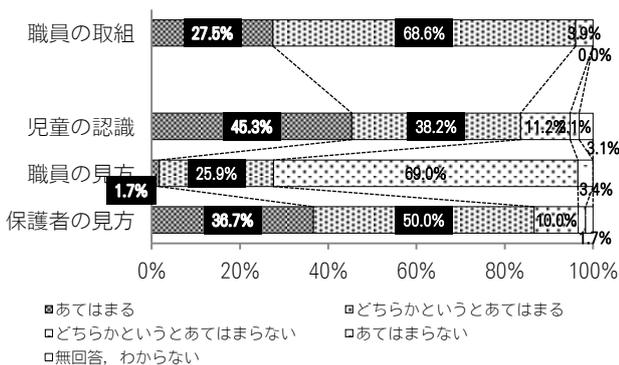
普段の学校生活で、自分の思いや考えをうまく伝えられないために、ささいなことでトラブルになる、ときには暴力をふってしまう児童をしばしば見かけます。

本校では、昨年度以上に、SST（ソーシャルスキルトレーニング）に力を入れて取り組んでいます。ささいなことでも一つ一つ丁寧に対処する方法を教えるようにしていきます。

7 学習について

学習理解【4教科（国語，社会，算数，理科）の学習が理解できている】

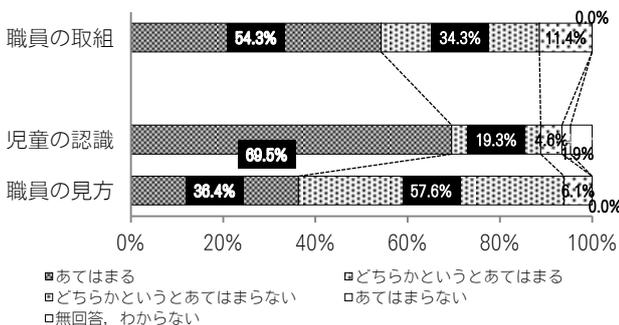
- 保護者 ----- 学校で学習したことが身についている。
- 児童・職員 --- ○○の勉強がわかっています（4教科の集計結果を総計しました）。



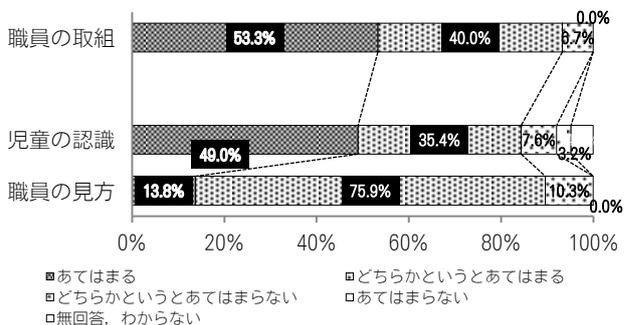
学力テスト等の結果からも力をつけさせたい課題が数多くありました。今後も、基礎・基本の習熟に重点を置いて授業を進めていきます。また、今年度は、基礎・基本ばかりでなく、身につけた力を活用できるように、言語能力の育成に重点を置いて各学年が取り組んでいます。

参考に総合学習とチャレンジタイム・読書タイムの有効性に関する集計結果も載せておきます。

【総合的な学習】



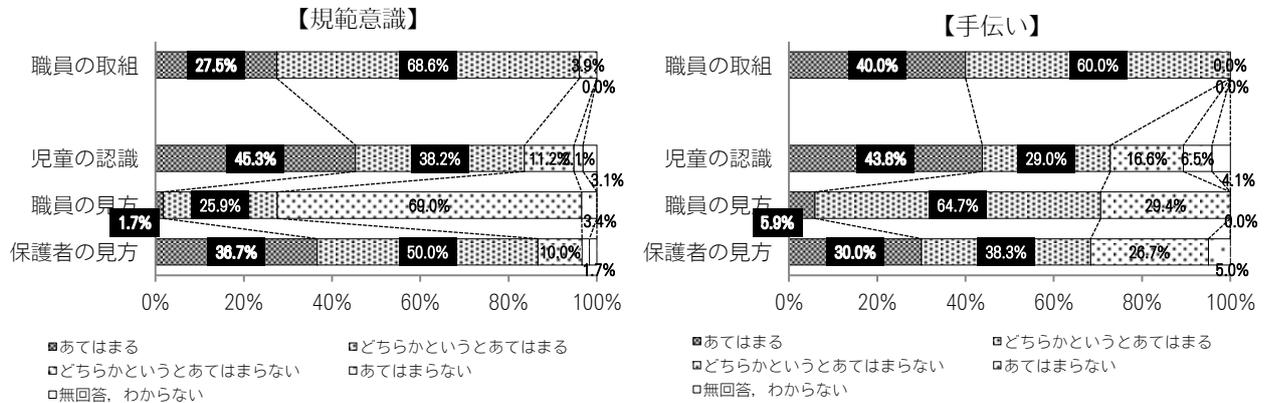
【チャレンジタイム・読書タイム】



8 生活について

規範意識, 手伝い

- 保護者 ----- 社会や学校のルールやきまりを守る力が身についている。
- 児童・職員 --- 学校のきまりを守って生活しています。
 ろうかは、走ることなく、落ち着いて歩いています。
 トイレのスリッパをそろえることや落ちているごみを拾うことをしています。

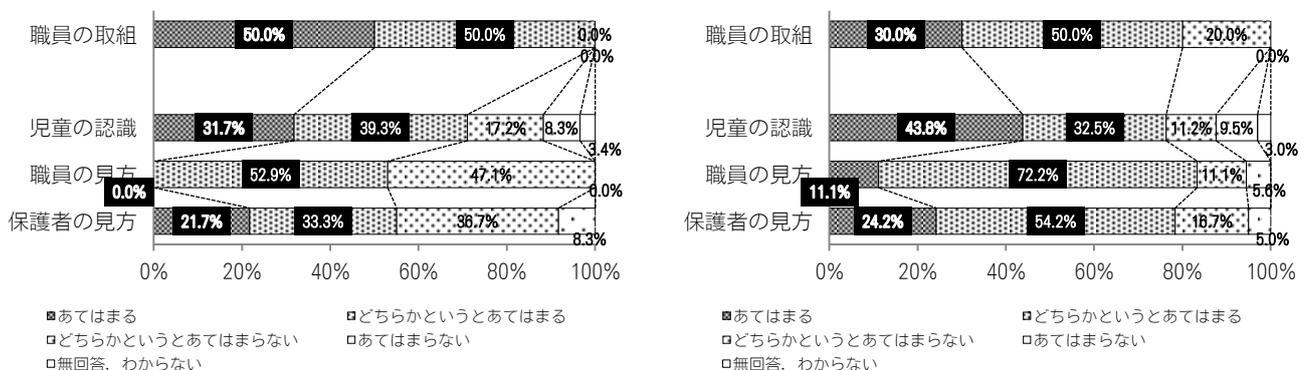


職員は、昨年以上に意欲的に生活指導に取組んでいます。しかし、できていると認識は、児童が8割以上であるのに対し、職員は3割に届きません。これは、ろうか歩行やトイレのスリッパの整頓ができないことが大きく関わっています。この2点、学校という社会でいつの時代も取り上げられる問題です。

学校は、子どもたちがこれからどんなコミュニティに所属しても自立できる力を身につける場と考えています。ろうか歩行に気をつけることやトイレのスリッパをそろえることは、そのルールとモラル・マナーの基本中の基本ではないでしょうか。このことばかりでなく、当たり前のことを当たり前に行える人になるための、基本を根気よく教え、できるようにさせていきます。それが、どんな環境におかれたとしても、その時に困らないための力を身につけることにつながると考えます。

整理整頓・あいさつ

- 保護者 ----- 整理整頓する力や後片付けをする力が身についている。
 気持ちのよい笑顔や声であいさつができます。
- 児童・職員 --- 授業が始まる前に、学習の準備をしています。
 気持ちのよい笑顔や声であいさつができます。



毎年同じ傾向がみられる基本的生活習慣に関する二つの設問です。

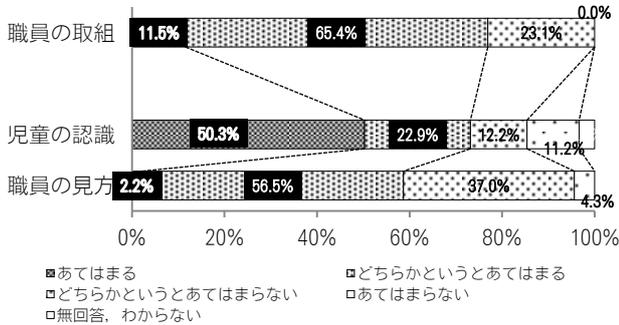
整理整頓については、できているとの認識している児童が7割ほどであるのに対し、職員・保護者は5割ほどでした。この結果は昨年とほぼ同じです。活動に必要なものを事前に用意をし、手際よく準備することは、仕事をする上でとても大切な力です。学校と家庭が共同し、力を伸ばさせていきたいです。

あいさつについては、児童・職員・保護者の肯定的回答が同じ傾向で年々増えています。うれしい結果です。PTAの0の日・あいさつ運動を今後も継続していただければと考えています。

9 生活習慣

生活習慣

- 児童・職員 --- 体を動かしている。
すききらいなく食べる。
規則正しい生活をする。



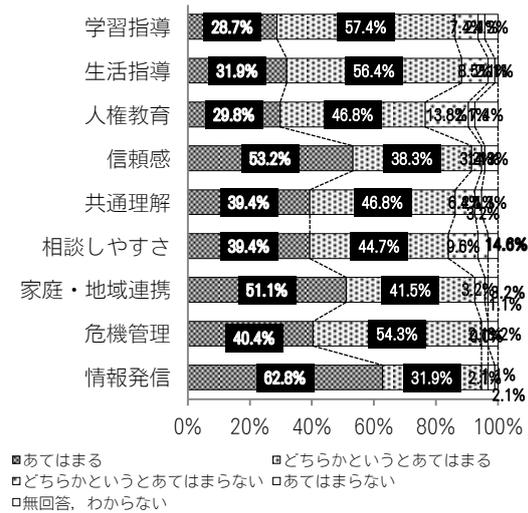
学校では、長期の休業後の健康チェックカードなどの取組みや給食指導により、生活習慣を改善するように働きかけています。

特に学期の始まりに規則正しい生活を送れない子が増加する傾向があります。不規則な生活が学習意欲の低下につながり、ひいては不登校に発展することもあります。今後も未然に防ぐ努力を続けていきたいと考えます。

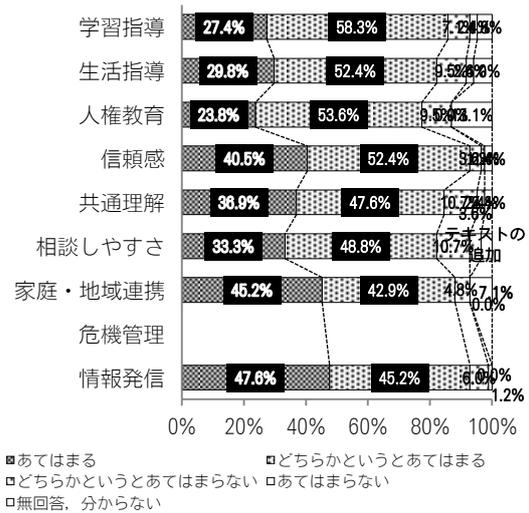
9 萩山小学校の取り組みについて

萩山小の取り組みに対する保護者の認識

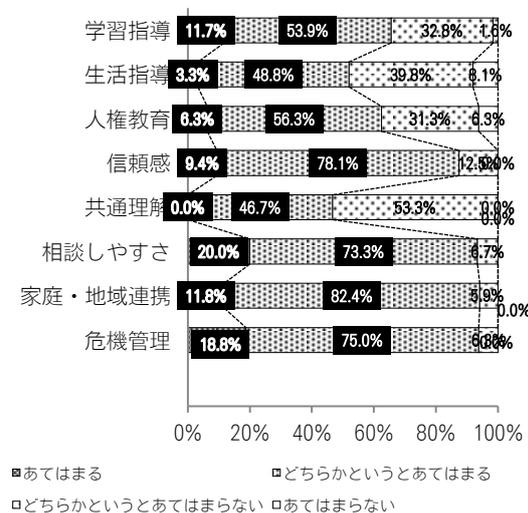
本年度



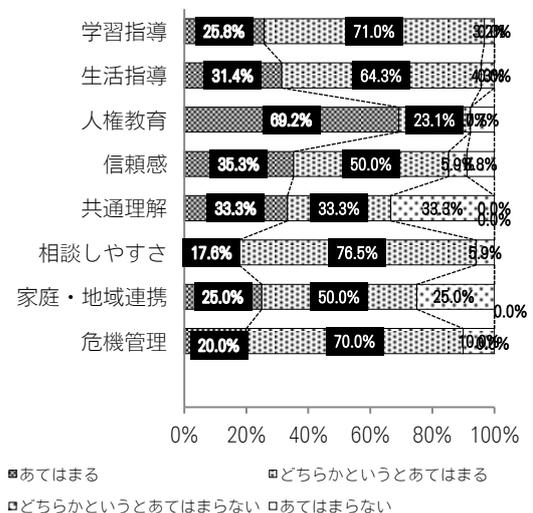
昨年度



職員の認識



職員の取組み



全体を通して、保護者のみなさまの肯定的な回答がほとんどの設問で80%を上回っています。これに加え、肯定的な回答が「どちらかというにあてはまる」から「あてはまる」にシフトしました。萩山小学校の学校運営にご理解をいただき、信頼・協力していただいていると感じました。うれしいかぎりです。ありがとうございます。

また、本校職員と保護者のみなさまの回答の傾向がほぼ一致しました。同じ目線や考えで学校運営を進めていけているのではと思います。

この結果から、職員一同、自信を持って現在の取り組みを継続していきたいと思います。また、ご意見やご要望をいただいた際には、真摯に受け止め取り組みの改善をしていきたいと考えております。

学校は、子どもを真ん中に据えて、職員、保護者、地域が共同して活動をしていかななくては成り立ちません。子ども達が、将来、自立し生き抜く力を身につけるために、今後ともご支援、ご協力をお願いします。

* 萩山小ホームページを充実させています。PC・タブレット・スマートフォンからもご覧いただけます。瀬戸市立萩山小【<http://www.city.seto.aichi.jp/education/school/ehagiyama/>】で検索をしてください。